

<別紙> 情報提供様式

事例名	
学校経営骨太モデル事業	
学校名	
彦根市立中央中学校	連絡先 0749-26-0200
取組分野(複数選択可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 副校長・教頭の負担軽減に関する取組 (学校経営骨太モデル事業 副校長・教頭マネジメント支援員の活用等)	
直面していた課題(取組前の様子)	
<p>多くの教職員が長時間の時間外勤務を行っており、特に教頭の時間外勤務が100時間を超えなかったのは8月のみで、月平均では115時間である。</p> <p>また、教職員の年齢構成上、次代の管理職を想定した30代の人材育成が急務である。</p>	
在校等時間の縮減に向けた具体的取組内容	参考となる写真や資料を添付
<p>○予防的生徒指導の充実</p> <p>○部活動の活動時間の縮減</p> <p>○事業推進委員会および業務改善チーム会議の定期開催による校内業務改善の企画・検討および推進</p> <p><u>取組のポイント</u></p> <p>○在校等時間の縮減に向け、2大原因である生徒指導、部活動を核に取組を推進する。</p> <p>○次代の管理職の人材育成も含め、該当教員に学校経営参画意識を高めさせる。</p>	<p>○教職員アンケート(働き方改革を推進している)</p> <p>積極的な肯定 44.8% 肯定 41.4%</p> <p>否定 13.8% 積極的な否定 0%</p> <p>○部活動</p> <p>4-10月上旬・2月:15分、3月:45分短縮</p> <p>2学期から、課業日の部活動なしを週2日に</p> <p>○当該教頭の超過勤務時間(4月-12月)</p> <p>R4 108:35h R5 105:05h R6 91:54h</p> <p>詳細は<別添資料1>参照</p> <p>○教職員の超過勤務時間の推移(R4-R6)</p>
取組の成果	<p>月別教職員の超過勤務時間の推移 (R4-R6)</p>
<p>○教頭の在校等時間が月平均16時間以上減少した。</p> <p>○生徒指導の未然防止や早期発見ができることが多くなり教職員の在校等時間の縮減とともに、教員の精神衛生上の効果もあった。</p> <p>○教員からは部活動にかかる負担が減った、平日の勤務時間内から教科や分掌の仕事ができると好評であった。</p> <p><u>成果のポイント</u></p> <p>○全教職員での生徒指導に係る共通実践が、生徒との信頼関係構築や事後指導の減少につながる。</p> <p>○自ら業務を改善、学校経営に参画しようとする教員を育成する。</p>	

当該教頭の超過勤務の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R4	115.55	119.35	135.07	111.24	76.55	101.38	115.39	106.22	94.4	103.1	169.37	131.29
R5	126.16	120.09	128.48	102.14	64.2	102.56	108.07	109.08	83.46	102.03	104.09	103.03
R6	118.19	106.34	105.03	87.33	32.25	90.49	104.45	95.34	86.02	66.46		
R4比	+2.64	-13.01	-30.04	-23.91	-44.3	-10.89	-10.94	-10.88	-8.38	-36.15	(-65.28)	(-28.26)